

# ハンドボール No. 5

Japan  
Handball  
Association

<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	Jリーグ大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input checked="" type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	県営-男33
----------	--------

年月日	2021年8月18日(水)
大会名	令和3年度全国高等学校総合体育大会 福井県大会 福井県立徳山商工高等学校ハンドボール部選手権大会

## 公式記録用紙

A 山口県立徳山商工高等学校						浦和学院高等学校						B				
福井県		福井市		福井県営体育館						3回戦						
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B		
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数					
	2/3		1	2 後半	3	1	2	3	2/2							
			2827	1536					1807							
No.	徳山商工高校					G	W	2	D	DR	No.	浦和学院高校				
1	吉川 嵩人										1	加藤 誠				
3	小濱 裕司										2 c	青木 蓮斗				
4	姉ヶ山 怜					6	1				3	狩野 拓己				
5	西田 悠					1	1	1			4	高橋 騎士				
6	小野 幹太										5	鈴木 飛鳥				
7	高木 俊輔										6	清黒 瞳太				
9	河村 琢磨										7	石井 運				
10	原田 修汰										8	井上 巧登				
11	保科 龍之介					6		1			9	竹内 克				
12 c	上野 諒太										10	塩畑 陽太				
13	首藤 颯汰					7					11	榎本 陽太				
14	河村 修太					6					12	久保形 俊哉				
15	金岡 凌平					2					13	大久保 昌憲				
16	竹下 晴日					8					16	松本 悠希				
役員A	藤本 靖雄										役員A	岩本 明				
役員B	着本純平										役員B	岩本 岳				
役員C	中川 桜花										役員C	市川 央人				
役員D											役員D					
A	藤本 靖雄					チーム役員A署名					岩本 明					B

レフェリー	竹ノ下 晴彦	木下 豪人	竹ノ下 晴彦	木下 豪人
TD	半田 有完	中山 光広	半田 有完	中山 光広
MO	篠原 理		篠原 理	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



# ハンドボール NO. 7

令和3年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2021年 8月18日 水曜
会場	福井県営体育館
種別	男子
回戦	3回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		徳山商工	<b>36</b>	19-12	<b>30</b>
			後半		
			17-18		
	第1延長		第2延長		7MG
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MGの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	開始早々、浦和学院の8番、井上のシュートで先制すると連続得点で主導権をつかみにかかるも、対する徳山商工の11番、保科のシュートを皮切りに3連続得点で一気にリードを奪う。積極果敢に攻めにかかる浦和学院だが徳山商工の12番、GKの上野の好セーブに阻まれなかなかリードする展開をつかめず、前半13分で11-9と浦和学院2点ビハインドの展開。対して徳山商工は16番、竹下のシュートで勢いづき6連続得点、14番、河村の豪快なシュートもありチームに明るさが生まれる。少しでも点差を縮め逆転につなげたい浦和学院は7人攻撃に出て得点を重ねるも徳山商工の主導でゲームが進み、19-12、徳山商工のリードで前半を終える。
	後半	後半に入っても両者トップギア。リードこそ抜けられないものの、点差は詰めさせず付け入る隙を与えない徳山商工に何とか食らいつき反撃の時を待つ浦和学院。中盤にさしかかり浦和学院3番の狩野が長身を活かしたシュート、5番鈴木 of 鋭いシュートなどで風向きが変わる。4連続得点を重ねじわじわと点差を詰めはじめ、後半15分を28-23とする。この流れを断ち切りたい徳山商工、タイムアウトを要求し立て直しを図ろうとするも浦和学院の12番、GKの久保形の好セーブで思うように得点できない。一気に反撃に出るかと思われた浦和学院だが退場を出してしまい、万事休す。36-30で徳山商工が快勝した。

記入者

丹羽 終真